

科目名	学習・言語心理学			担当教員	蔵 富 恵	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED2SPS108
期待される学修成果	教科教育 子ども理解					
アクティブラーニングの要素	ディスカッション、ディベート					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	1.人間を含む生物の学習メカニズムを理解し、教育場面での応用可能性を考察することができるようになる。 2.言語の獲得、理解、生成のメカニズムを理解し、言語にかかわる様々な症例についての対応を考えることができるようになる。					
授業の概要	前半では学習心理学、後半では言語心理学について概説を行う。講義の形式は主に座学ではあるが、受講者が追体験できるデモンストレーションは随時導入、実施していく。教育場面への設置を目標としているため、定期的に学習した内容に対する教育場面への示唆を議論する機会を設ける。 【デジタル技術利用 該当番号：①、③】					

授業計画	
第1回	オリエンテーション/学習・言語心理学とは
第2回	生得的行動と順化・鋭敏化
第3回	古典的条件づけ（レスポナント条件づけ）の基礎
第4回	古典的条件づけ（レスポナント条件づけ）の応用
第5回	道具的条件づけ（オペラント条件づけ）の基礎
第6回	道具的条件づけ（オペラント条件づけ）の応用
第7回	技能学習
第8回	社会的学習
第9回	動機づけ
第10回	学習心理学のまとめ
第11回	非言語的コミュニケーション
第12回	言語の獲得
第13回	言語理解
第14回	言語と推論/言語心理学のまとめ
第15回	まとめ

事前学修	2時間	関連書籍・論文に目を通して事前知識をある程度備えておくこと。
事後学修	2時間	次回の講義に関する質問や課題を課すことがある。この課題に取り組まない場合には、次回の内容が十分に理解できない場合があるため、忘れずに課題に取り組むこと。
フィードバックの方法	質問などは各授業終了後に受け付け、翌週にフィードバックを行う。また、メールでの質疑も随時受け付け、応答する機会を設ける。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
上記以外の試験・平常点評価		100%	授業への積極的参加度および貢献度に加え、授業内で提示される課題（確認テスト）に基づいて評価する。
定期試験		0%	実施しない。
補足事項	授業内への積極的参加度および貢献度30%，授業内で提示される課題（確認テスト）70%で総合評価を行う。		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	関連論文が多岐多数にわたるため、特定の教科書を指定せず、随時文献を紹介する。			